



# LPガスを 正しく使いましょう!



## 点火・消火は必ず目で確かめましょう。



完全燃焼

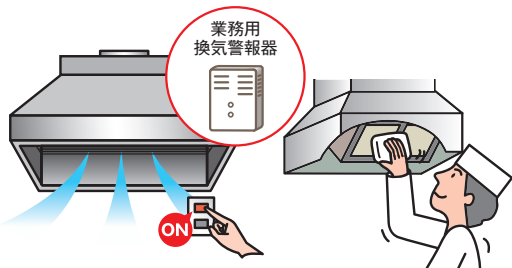


空気不足

- ガスが点火したら、必ず「青い火」になっているか確かめましょう。
- ガスを使っている時は、その場を離れないようにしましょう。煮こぼれして火が消えることや、揚げ物をしている時に過熱して鍋の中の油に火が着くことがあり、大変危険です。やむを得ずその場を離れるときは、必ず火を消して、目で安全を確かめましょう。
- ガス器具の近くには、燃えやすいものは置かないでください。



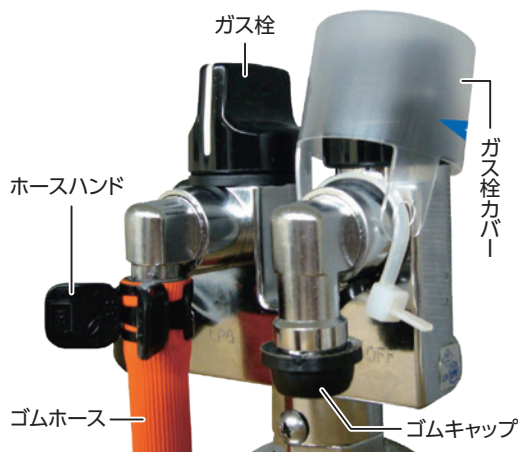
## ガス器具のお手入れを忘れずに。



- ガス器具はこまめにお掃除、お手入れをして不完全燃焼を防ぎましょう。不完全燃焼は一酸化炭素 (CO) 中毒事故の原因となります。
- ガス器具のお手入れなどで分解する必要がある場合は、ご自身では行わず、必ずLPガス販売店にご連絡ください。
- ガス器具の異常燃焼時には、火が赤っぽい、鍋や壁にススが付く現象が起きます。これらの異常に気がついたら、すぐにLPガス販売店にご連絡ください。



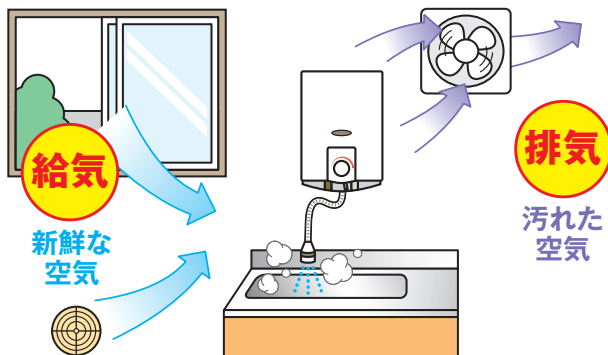
## ガス栓は、使う時は全開で、使わない時は完全に閉めましょう。



- ガスを使う時は、ガス栓を全開にしてください。また、ガスを使わない時は、ガス栓を完全に閉めてください。
- 外出する時やお休み前には、ガス栓、器具栓 (点火スイッチ) が閉まっていることを確かめましょう。
- 長期間ご不在となる場合や休業される場合は、容器バルブを必ず閉め、LPガス販売店にご連絡ください。
- 配管やガス栓をアースの代わりに使わないでください。
- ガス器具に接続されていないガス栓は、絶対に開けないでください。(ガス栓カバーとゴムキャップの装着が有効です)
- ゴムホースはLPガス専用のものを使い、ガス栓の赤い線のところまで確実に差し込んで、ホースバンドでしっかり止めましょう。ひび割れ、焼け焦げのあるゴムホースは、すぐに交換してください。



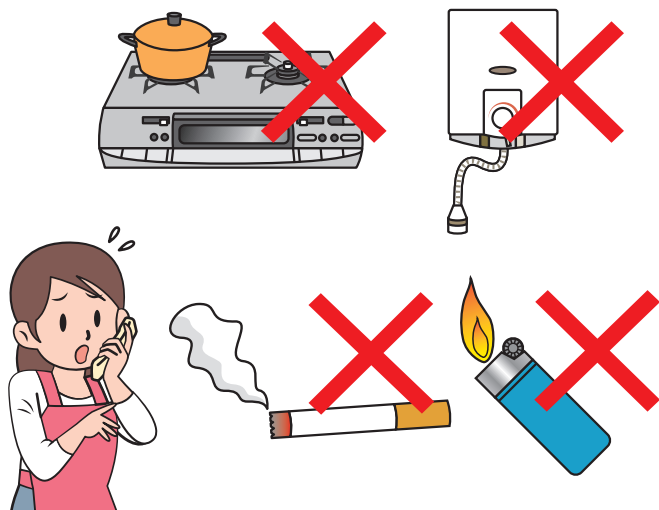
## ガス器具を使う時は、必ず換気をしましょう。



- 室内用湯沸器やガスコンロなどを使う時には、換気扇を回して必ず換気（給気と排気）をしましょう。また、給気口が塞がっていないか確認しましょう。
- ガスストーブを使う時には、部屋の窓をときどき開けて、新鮮な空気に入れ換えましょう。
- 業務用厨房では、ガスの使用中は、常に換気扇や排気ファンが回っているか確認しましょう。また、ガスの使用量も多いため、十分な給気の確保が重要です。



## ガスのおいにおい気づいたら、ガス警報器が鳴ったら 「火を使用しないで!」「ガスを外に追い出して!」



- 室内の火は全部消してください。
- コンセントの差込やスイッチにふれないでください。着火の原因となります。
- 換気扇は回さないでください。また、回っている換気扇はそのままにして、手をふれないでください。
- 戸や窓を大きく開けて、ガスを外に追い出してください。LPガスは空気より重いため、低いところにたまります。
- すべてのガス栓、器具栓（点火スイッチ）、容器バルブを閉めてください。
- LPガス販売店または保安機関（緊急時の連絡先）に連絡し、点検が終わるまではガスを使わないでください。

## 安全・安心のための点検・調査にご協力ください。

- 皆さまが安心してLPガスを使えるように、保安機関の認定を受けたLPガス販売店または販売店から依頼を受けた保安機関が、液化石油ガス法に基づいて点検・調査を行います。皆さまのご協力をお願いいたします。
- ① 容器交換のつど  
LPガス容器・調整器・容器バルブ・ガス供給管の外観点検
  - ② 1年に1回以上  
地下室等の配管からのガスもれ調査、白ガス管等の埋設配管からのガスもれ調査
  - ③ 原則として4年に1回以上  
調整器の機能点検、配管のガスもれ調査、ガス器具や給排気設備等の調査など、ガス設備全般の点検・調査

LPガス販売店

**LPガス**  
人と地球にスマイルを